

じゃがいものおうち通信 NO. 49 2006.10.21

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

NPO法人「じゃがいものおうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:http://www.minc.ne.jp/npo-jaga 代表 松田 正

未来バンク

未来バンクとか市民バンクという言葉を知っていますか？

誰もが少しは貯金をされているとは思いますが、その先をちょっと見てみませんか？

たとえば郵便貯金、10万円預けるとそのうち4万5千円は国債に回されます。

その1/10、4千5百円はアメリカの国債を買うのに使われ、その1/5、9百円は

軍事費として使われています。つまり知らず知らずのうちにイラク戦争に負担

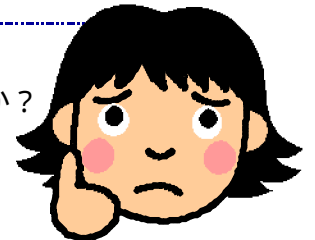
させられているということになってしまいます。都市銀行にしても比率が違うだけで構図は同じ。

あまり嬉しいことじゃありませんね。じゃ、どこに預ければいいんだということになってしまいます。

そこで未来バンクのような考え方があります。

バンクとはいえいわゆる銀行ではありません。なにが違うのか、元本や配当の保証が法的には出来ないことです。貯金と言うことではなく出資という形です。だったらなぜそんな保証もないところに出資するのでしょうか。そこには夢があります。自分たちの納得できるところに融資をする、自分たちの望む暮らしやすい社会を育てるという夢があります。

未来バンクだけではなく、市民バンク、エコバンク、NPOバンクなどと呼ばれているものも同じような考えで運営されています。また最近では社会的責任投資（SRI）と呼ばれ、企業の社会的責任の評価を加味して投資先企業を決定する方法が注目されるようになってきました。軍需産業やたばこ、ギャンブルなどの関連には投資をしないということなので、少しは気が休まるかも知れません。（松田）



【小規模多機能準備室より】

「じゃがいものおうち」では今年度から介護保険の地域密着型サービスとして始まった小規模多機能に注目しています。サポートの必要になったお年寄りや障害者の暮らし方として、一軒の家に、日中通って来て一緒にご飯を作って食べたり、手伝ってもらってお風呂に入ったり、たまには泊まり込んだり、自宅に訪問してもらったり、又世話になるばかりじゃなく、自分の出来ることは自分でやって、いつまでも人の役にも立てる、そんな暮らし方が多くの人に望まれているのではないのでしょうか。

地域の人にも、高齢化してきた会員にも、住み慣れた所で暮らし続けることの出来る形「小規模多機能型居宅介護開設」を目指すことにしました。

「じゃがいものおうち」から3名と会員外からも2名参加してもらって準備室を設けました。すでに9月8日と10月6日の2回準備室委員会を開き、2008年4月開設を目標に準備を進めています。まだまだ問題山積みで見えてこないところも多いのですが、当面の課題は場所と資金の手当てです。場所は出来るなら尾之間集落の中と考えています。どなたか貸して下さる家をご存じないですか？また出資してもいいよという方はおられますか？とりあえずは場所が決まったら試行していこうと話合っています。

準備室委員会は月一回開く予定で次回は11月10日です。会の報告（準備室ニュース）は喫茶のカウンターの前に置いてありますので、関心のある方はご覧下さい。また必要な方には配布しますので申し出て下さい。（松田）



講演会のお知らせ

小規模多機能の前身である富山型ディサービスの一つディケアハウス『にぎやか』代表の 阪井由佳子さんが来島され、「地域でできる介護福祉実践セミナー」と題して講演会があります。とってもおもしろそうなので参加費無料ですので、是非参加してください。

日時：12月9日（土）18：30～20：30

場所：屋久島総合センターホール

突如始まった『おおぼらかい』

事の発端は「これからの屋久島でどんな暮らし方があるだろうか。会員同士で話してみたいなあ。じゃあ素敵な会の名前を考えてね」

そして有志6名で話し合い、「ほら貝の様に皆に広く伝わるように」「螺吹き(ほらふき)できるくらい楽しい時間を過ごせたらいいな」という2つを重ね合わせ、誕生しました。

まだまだこぎ出したばかりの船で、どこに向かってゆくのか、どこに上陸するのか、難破するのか、未知の航海ですが、皆さんと一緒に波に揺られてい

きたいと思っていますので、ふと心が動いた時には是非ご参加ください。(羽田)

基本的には茶話会です。

参加費100円(お茶、お菓子付き)

一般会員、家族会員、賛助会員の誰でも参加OK(島内の方には、チラシを配布しています。もし届いていないという方がありましたら「じゃがいものうち」までご一報下さい。島外の方はごめんなさい。)

喫茶コーナー

喫茶が変わった!



「じゃがいものうちで障害当事者の姿がみえない」「障害当事者の社会参加の場を増やそう」ということで、九月から新しいメンバが喫茶に加わりました。鹿島浩二さん(木曜)、日高利枝子さん(金曜)、高見澤信裕さん(土曜)の3人です。

【ニューフェイス! 月・火曜日担当】

日高典子

松本活栄さんの紹介で、9月より「じゃがいものうち」でお世話になっています。仕事をさせて頂きましてからまだ日が浅く、何もかも戸惑うばかりで、松本さん、畑下さんには多大な御迷惑をかけて心苦しく思っています。

私は生まれも育ちも尾之間集落です。そのせいか、地元を愛する気持ちは強い方だと思っています。「じゃがいものうち」が出来てから何年位になるのかわかりませんが、色々な事業・活動に取り組んでいらっしゃるんだなと感心している所です。残念な事に地元には、正直言って「よその人の集まり場所」との認識が高いのでしょうか、馴染みがない様に思われます。

活動や事業計画の中で松田さんから「小規模多機能事業」についての話を聞かせて頂きました。多くの問題を抱えながら一生懸命頑張っている事に頭の下がる思いです。今も又これからも、ますます必要とされる事業です。早く実現できたらと願っています。私にも何か出来る事があつたら微力ながら協力して行きたいと思えます。

「通信」の新人紹介という意味で一筆と言われましたが、急なことでとりとめのない事を書いてしまいました(お許し下さい)。ふつつか者ですがどうぞよろしくお願い致します。

【水・木曜日担当】

松本活栄

鹿島浩二さんもがんばっていますよ! 次回の通信では浩二さんの仕事ぶりを紹介いたします。

【金・土曜日担当】

畑下和子

私は今、利枝子さん・信裕君と仕事をさせて頂いております。朝一番にトイレ掃除をする二人を見てみると「今日も頑張るぞ!」という思いがひしひしと伝わってくる。お客様を迎える準備完了。

さあ、じゃが喫茶オープン。「お客さん来るかなあ~来るかなあ。」午前中だけの間ですが、何度その言葉を耳にする事か。本当に、心底からお客さんを待っている姿には頭の下がる思いです。「あっ、お客さんが来たよ、いらっしゃいませ」と元気よく言ったものの、サッサと隠れてしまったり...。(今まで、あんなにお客さんを待っていたのに、きっとタイミングが合わせられなかったんだね。)最初はこんな事もあったかな。しかし今では「いらっしゃいませ」と元気よくテーブルに案内する。「お水をどうぞ」と、なかなか手際が良い。お家でお父さんから、コーヒーの入れ方を特訓?されたようで注文のコーヒーを一生懸命入れてくれる。お客さんから「おいしいよ◎」と言われて満足げな信裕君。「良かったねえ」。何か心の中があつたかい気持ちでいっぱいになる。これからもあつたかいおもてなしを皆様にも感じて頂けるよう、日々心がけ、皆で頑張ります。じゃが会員、他の皆様、三人の応援方々、喫茶の方へもぜひ足をお運び下さいませよう、お待ち致しております。

電子レンジの寄付、ありがとうございました。喫茶でたいへん役立っています。

行事報告

じゃが千恵 豚味噌を作るう！

7月9日に予定してました豚味噌作りは台風接近で延期、7月16日に行いました。5種類の豚味噌を作り、「じゃがいものうち」ブランドの豚味噌を決めようといういろいろと意見交換をしました。結局出来たてでは味が馴染んでないから、「キ

ャンプの時試食しよう」となりました。その結果は、甘さひかえめちょっとピリカラってところかな。豚味噌はタンカンジュースに次ぐ有力商品、今年度中に商品化します。(楯)

キャンプ 子持ちギャルの《ひとこま見聞録》

『じゃがいものうち』恒例の交流サマ - キャンプ(8月19日~20日)が夏空の下、栗生の青少年旅行村で行われました。海水浴の大好きな信君は、小笠原さんや高校生のボランティアの方々と一緒に、早速青い海へGo! 先に来られていた療育の方々と合流し、栗生の海を満喫していました。お仕事大好きな浩二君はスタッフのお手伝いをしてくれたり、高校生ボランティアの方々とスイカ割りの棒を浜辺へ探しに行ったりと、暑いのも何のその、準備に一生懸命お手伝いをしてくれました。体を動かした後のみんなで割ったスイカのおいしかったこと!そしてお次は夕飯作り。メニュー - はもちろんカレー - ライス。だけど『じゃがいものうち』のキャンプのカレー - ライスは特別です!だって、さっきまで生きていた松田さんの地鶏が入っているんだもん!このキャンプでしか味わえないおいしさです。それに、今年は、千賀子さんがシカ肉を畑下さんが富山県産のイカを持ってきて下さったので、豪華なバ - ベキュ - 付きでした。夕飯の後はお待ちかねのキャンプファイヤ - 。今年の担当は鈴木でしたので、息つく間もない体育会系フォ - クダンスで、皆さん1週間、いえ1ヶ月分は体を動かしましたね。信君の新作のお笑いステ - ジや浩二君のものまねは、みんなを楽しませてくれましたね。二人の芸達者ぶりにはびっくりです!そして、屋久町の花火大会よりず - っと長く打ちあがっていた『じゃがいものうち花火大会』。高校生ボランティアの皆さんと楽しんだトランプ大会。



二日目の朝

あつという間に夜も更けて、初めて(または久々に)親元を離れ泊まることに、ドキドキしていた『手をつなぐ育成会』のメンバ - も夢の中へ。空が明るくなるまで夢の中へ入ろうとしないオヤジ連中もありましたが... 朝ご飯は、以前『じゃが知恵』の時みんなで作った豚みその試食会。さてさて、『じゃがいものうち』の新商品誕生となるか?乞うご期待を!

追伸~今回のキャンプ、鈴木が担当でした。不慣れなため、至らない点が多々ありましたことをお詫び致します。たくさんのご協力、差し入れ等、本当に有り難うございました。そして、高校生のボランティアの皆さんが来て下さって、とても助かりました。皆さんの活動が、このキャンプをさらに思い出深いものにして下さったと、心より感謝致します。(鈴木裕子)

行事予定

おおぼらかい(芋煮会)

日時 10月26日(木)11時~15時
場所 松田さん宅(尾之間)
詳しくは案内チラシをご覧ください。

じゃがいも植え付け

日時 11月5日(日)10時
場所 尾之間新里自動車の下
持ち物 軍手、お弁当、飲み物、包丁、小さなバケツ

手をつなぐ育成会コーナー

私たち「手をつなぐ育成会」の取り組みも、毎日通える日中作業の場作りを目標に、2年前より取り組んでいます。単調な下請け作業だけでなく、屋久島らしい夢のある、喜び合える作業を創り出そうと、挑戦を重ねています。毎週水曜日のこの会には、楽しみに集まってくる仲間達にとってすっかり馴染んだものになりました。以前は毎回の電話連絡も今は都合の悪い時だけの連絡ですんでいます。今月は育成会も農繁期に入り、野菜の種

まき、草取り、除草と手入れや世話に大忙しです。11月21日は福祉文化祭、12月3日は町文化祭があります。演目は「浦島太郎」です。そろそろ出し物の練習の時期になります。「じゃがいものうち」の皆様も今年も一緒に出ませんか？

平成20年4月開園予定の愛心会の通所授産施設も着々と準備が進んでいます。開園すれば、私達の仲間も何人かは通う事になるでしょう。障害者自立支援法が施行されて、知的、身体、精神の障害種別が取りかわれ3障害が一つにされ、施設の定員数も確保され易くなりました。島内の在宅の障害者にとって、毎日通う事の出来る場が屋久島に初めて開設される事になります。施設の作業内容も軽食喫茶の店、パン作り、木工作業、ビニールハウスによる野菜、花の苗作り、縄文の郷の清掃作業等計画されています。毎日通う仲間たちの生き生きとした顔が

鹿島浩二さん作



(智香子ちゃんの
似顔絵)

見られると思うと楽しみです。愛心会の施設は徳洲会病院のそば。屋久町の方にも分園は出来ないものかと要望しましたが、県はとりあえず1箇所ということでした。いずれは屋久町にも通える場が出来、現在の活動がそこへつながる事になるよう、また、授産施設との連携をとり屋久島に住む障害者の人達がより安心した暮しが出来る事を共に考えて行きたいと思います。(楯)

地域通貨「屋久の水」より

先日、「じゃがいものうち」主催による、「おおぼらかい」に参加いたしました。その中で、助け合いという言葉が出てきました。「じゃがいものうち」も、弱者である人達が互いに助け合い、支え合ってゆこうという活動なんだと感じています。

そうなんです。地域通貨「屋久の水」の目的もお互い助け合おうという「相互扶助」の活動なんです。特に困ったときなんか、この屋久の水が出番と思っ
てます。現金が出ることなく、気軽に頼める。しかも、現金では売買不可能なものまで流通するのです。人それぞれに持っている特技、知恵知識、技術、技能そしてやさしさ、思いやりなどなど、お金で買えないものはたくさん隠されているし、流通していないのが現状ではないでしょうか。

昨今、格差社会とかが問題になっています。強者と弱者、お金持ちと貧乏、どんどん差が大きくなってきているのも事実のようです。地域通貨「屋久の水」は、強者が弱者へ、お金持ちが貧乏者へといった一方向への流れではなく、サービスを与える方も与えられた方もお互いが助かっていくという特徴があります。屋久の水が流通して何よりも大切なこと

は、人と人とのふれあいが出来るということです。物やサービスはお金で買えますが、人の心はお金では買えません。お互いの信頼ができて初めて、人の心は結ばれると思います。地域通貨「屋久の水」に、「ありがとう」という心をのせて、助け合いが助け愛となることを祈りながら今後も流通させていきたいと考えております。地域通貨「屋久の水」は現在、会員数65名。この中で流通している通貨です。この機会に是非、ご参加くださるようお願いいたします。

会費は、年600円(月額50円×12月)。ボランティア保険料が一人300円です。10月に入会すると会費は300円となります。

活動としては、会員同士のコミュニケーションの場として月1回~2回のイベントを計画しています。また、屋久の水リサイクルセンターによるリサイクル品の交換も行っています。

リサイクルセンターHPアドレス

<http://island.geocities.jp/yakunomizu/index.html>

詳しくは、「屋久の水」事務局へ ☎47-3359

代表 川上雄治

お祝い

日高広啓・初美夫妻に長女誕生！9月28日。
名前は寧香(しずか)ちゃんです。
おめでとうございます！

お悔やみ

柴田薫さんが8月28日にお亡くなりになりました。
ご冥福をお祈りします。

感謝録 (順不同 敬称略)

岩川絹子・楯陽子・日高弘子・堀木田勇二
若松秀雄・泉や倶楽部・桑山道子
畑下和子・井坪美紀 有川洋子・日高ヨリ
福島史子・松本活栄・柴堯子・岸槿子
日高酒店・羽田順子・日高知子・みみ商会
ありがとうございました。

編集後記

通信部員募集！

ワイワイにぎやかに通信作りをしていきたいと思っています。

毎年この時期は行事が多く発行が遅れます。

ごめんなさい！

(楯)

新しく通信部に入りました。よろしく。(柴堯子)